



原子燃料工業(株)熊取事業所の 近況について (令和5年度)

令和5年7月31日

原子燃料工業株式会社 熊取事業所

(前回令和5年1月の環境放射線評価会議以降の状況について報告)



Ⓟ 施設の状況について

- ⊖ 新規規制基準対応として地震対策、竜巻対策などの工事を実施し、原子力規制庁の確認を適宜受けております。
- ⊖ 原子力発電所向け燃料体の生産は令和5年度下期ごろに再開する見込みです。

Ⓟ 地元への啓発活動

- ⊖ 従来は4月に実施しておりました施設の見学会は、所内各所で工事中であったため見学者の受入れは中止しております。
- ⊖ 地元自治体(熊取町)との原子力問題対策協議会を3月に実施しております。

トラブルの発生状況について (1/2)

○ 令和5年2月22日(水)に第2加工棟三階において負圧警報が発報しましたが、第2加工棟では核燃料物質の取扱いはしておらず、事業所内外の環境への影響や作業員への被ばくもありませんでした。

事象発生時は新規規制基準対応工事のためダクトの工事中で、工事により開口したダクトから第1種管理区域内に空気が流入したことで警報が発報しました。

再発防止策として、同様の作業時には専任の負圧監視員を配置し、負圧異常の兆候を認められた場合は速やかに作業中止させることなどの対策を原子力規制庁に報告の上で実施しており、対策後は同様の事象は発生していません。

pトラブルの発生状況について (2/2)

第1種管理区域は非密封のウランを施設内に閉じ込めるため、部屋の圧力が外気圧より低い状態（負圧状態）に保たれています。

